

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	通信会社（店 長）	販売量の動き	・例年ほどではないものの、販売数は若干増加してきて いる。
	変わらない	百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・売上高前年比の動向を3か月前と比較してみると、 全館では、10月が101.8%に対して、1月の見込みは 98.8%となっている。悪化しているように見えるが、 10月は催事や企画の影響による底上げ効果によるもの で、主力の衣料品をみてみると、1月中旬からの冷え 込みの影響もあり、10月の前年比95.6%に対して、1 月の見込みは98.2%と健闘していることなどから、全 体的にはほぼ横ばいの推移である。
		コンビニ（エリ ア担当）	お客様の様子	・コンビニに来る客は目的買いであり、値上げしたし 好的な商品、例えばデザート類の売上が前年比20%弱 と顕著に減っている。相変わらずプラスアルファの購 買は抑えている傾向が続いている。
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・回遊客の数は少ないが、単価、客単価共にここ数か 月それほどの変化は無い。
	やや悪く なっている	スーパー（販売 企画担当）	来客数の動き	・来客数の減少が続いているので最近では会員へのポ イント還元を増やすセールを行っているが、まだ客数増 の様子はなく前年比マイナスの状況が続いている。
		コンビニ（経営 者）	単価の動き	・客単価が上がらない。必要な物以外は買わないから である。例えば、たばこを買って帰るだけで飲み物や デザートには目もくれない客が多い。また、来客数も 落ちてきている。
		コンビニ（エリ ア担当）	お客様の様子	・無駄な買物は無く、買上点数が抑えられている。
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・商店街を歩く人があまりいない。
		観光型ホテル （商品企画担 当）	来客数の動き	・前年同月では66.2%であった客室稼働率が、今月は 58.5%と7.7%ポイント落ちる見込みである。
		観光型ホテル （総支配人）	来客数の動き	・個人旅行は前年並みであるが、団体旅行が減少して いる。集客のために宿泊単価を下げたために、室料売 上は85%と大幅に減少している。宴会及び料飲部門等 の付帯売上で補う。
		通信会社（店 長）	単価の動き	・現在新商品が店頭に並んでいるが、過去においては 発売後はしばらく新商品に購入が集中していた。しか し現在は発売直後だけ売れ、以後は価格の安い商品に 集中している。
		ゴルフ場（経営 者）	販売量の動き	・需要がはっきりと減少傾向にある。様々な営業策を 考えて実行しても、集客は非常に難しい状況である。
	悪く なっている	一般小売店 〔鞆・袋物〕 （経営者）	お客様の様子	・特に、財布を握っている主婦層が慎重になってい る。
		その他専門店 〔楽器〕（経営 者）	販売量の動き	・前年比でも前月比でも売上の落ち込みが大きい。正 月だが、来客数も減少している。通りの歩行者天国の 動員数も減っている。年末年始後、成人式後の観光客 も急に減ってきている。
その他専門店 〔書籍〕（店 長）		販売量の動き	・以前より圧倒的に来客数、販売量共に激減してい る。書籍に関してはベストセラーが無いという現状も あるが、し好品にお金を掛けないという事も文字離れ につながっている。	
その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）		来客数の動き	・例年成人式までは新年会等でかなりの来客数がある が、今年は仕事始めから平日の来客数が極端に悪い。 また、ガソリン価格の安定、輸入品の円高差益で仕入 れのコストダウンを期待しているが、仕入価格に目 に見えた動きが無い。	
観光名所（職 員）		来客数の動き	・3か月前の10月の当施設の利用者数は、前年同月比 で108.5%であったが、今月は25日現在で同90.2%と 大幅に下回っている。この施設利用状況から1月の沖 縄県への入域観光客数は前年同月比で大幅な落ち込み が予想される。来園者は一般団体、修学旅行等が中心 である。	

		その他のサービス[レンタカー](営業担当)	来客数の動き	・県の入域観光客数の減少の影響で、貸渡件数が前年比で5%減少している。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	輸送業(代表者)	受注量や販売量の動き	・県内1地域を中心に出た公共工事の土木関連も一段落したが、改正建築基準法の影響も徐々に解消されつつあり、学校関係の建築の公共工事が出てきている。
	やや悪くなっている	窯業土石業(経営者)	受注量や販売量の動き	・大型工事が前月で終了し、今月はその反動で販売高が減少している。
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・新築及びリフォームの契約件数が落ち込んでいる。
悪くなっている	輸送業(営業担当)	取引先の様子	・建築関係は受注残があるためまだ影響は薄いですが、各種小売店の流通量は減りつつある。	
	通信業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・年度内は新たな受注案件が無い。	
		会計事務所(所長)	受注価格や販売価格の動き	・観光関連の顧客においては、本土からのまとまった予約がキャンセルになるなどの影響が出ている。周辺のリゾートホテルも同様の状況だと推測される。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	-	-	-
	やや悪くなっている	人材派遣会社(経営者)	求人数の動き	・製造業が少ない沖縄ではまだ大きな落ち込みは無いが、急に引き締め感が出てきている。また人材供給の方が増えてきたため、派遣契約期間内にもかかわらず、派遣契約の終了を一方的に通達し、派遣先が自分たちで直接雇用をする動きも出てきている。
		学校[大学](就職担当)	求人数の動き	・前年までであった第2新卒採用が今年は期待できない。また、県内の新卒採用枠も順次縮小する。
悪くなっている	求人情報誌製作会社(営業担当)	求人数の動き	・世界金融不況、円高の影響による輸出系の手メーカーの業績悪化に伴う人員削減が各方面に影響し、求人数の落ち込みに歯止めが利かない状況になっている。	
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・20年12月の新規求人数が1,485人で3か月前比で35.1%、前年同月比で34.3%減少している。新規求人数倍率が0.50倍で前年同月比で0.29ポイント悪化している。常用求人数が1,262人で3か月前比で37%、前年同月比29.5%減少している。有効求人倍率は0.34倍と前年同月比0.11ポイント悪化している。有効求人倍率が9か月連続で0.3倍台で前月から更に悪化している。また、完全失業率が現状を表しているか疑問があるとの見解があるように、数字以上の求職者がいるという印象を窓口で受ける。	
	学校[専門学校](就職担当)	求人数の動き	・前年同期と比較して県外からの求人数が減少している。また大幅に採用予定枠を減らしている企業が多数見られる。	